

大 目 録

健康づくり施策の進捗状況等について
(概 要)

(梓 貴 幸 著)

資料

イーと健康の発展の発展

目 次

I 平成 26 年度の取り組み	2
II 平成 27 年度の取り組み	9

(参考資料)

具体的な施策の展開シート	資料 1-2
--------------	--------

1 平成 26 年度の取り組み

「第 2 次健康くまもと 21 基本計画」の 3 つの基本目標である「健康意識の醸成」「健康分野における地域コミュニティづくり」「健康寿命の延伸」を目指し、生活習慣病対策を含む健康づくり施策を推進した。

とりわけ、「がん」対策については、行政関係課による「がん対策ワーキング会議」及び健康くまもと 21 推進会議の委員による「がん部会」において、「受診率向上にむけた取り組み計画」を作成した。

また、本市の健康課題である「CKD対策」については、かかりつけ医や腎臓内科専門医等の連携を図ることを目的とした「病診連携プロジェクト会議」において、病診連携システムの効果検証を行いながら協議した。

次に、「校区単位の健康まちづくり」では、6 回にわたり校区単位の健康まちづくりをテーマとした「市政リレーシンポジウム」を開催したことにより校区毎の取り組みをさらに進めるものとなった。

○ 主な取り組み等

※ページ数は「資料 1-2：具体的な施策の展開シート」のページ数

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

① がん (P1~4)

【関係機関・団体】

- ・ 大腸がん検診啓発トイレットペーパー (5 万個) やピンバッチによる募金 (約 1,000 個)、情報誌による啓発等各種啓発を実施した。【がん予防協会】
- ・ 学生サポーターが各種イベントへ参加し啓発を行った。【がん予防協会】
- ・ 熊本商工会議所ホームページ内でがん検診についての記事を掲載した。【熊本商工会議所】
- ・ 楡木校区敬老会等でがん予防の講演会を行った。【北区内】

【行政】

- ・ 市政だより、市ホームページ等の活用や、校区単位の健康まちづくりの中での地域の健康イベント等におけるがんに関する正しい情報提供や啓発の実施
- ・ 関係機関 (協会けんぽ、がん協定企業や大学生等) とワーキンググループを設置し、子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診啓発パンフレットを作成した。
- ・ 乳がん及び子宮頸がんについては、平成 21~24 年度の検診未受診者に無料クーポン券の送付 (乳がん：62,361 人、子宮頸がん：61,666 人) また、受診者を対象に定期受診を促す個別勧奨を実施
- ・ がんに関する悩みや不安への相談対応及び治療法に関する情報発信等を行う「がんサポートセンター」を開設 (平成 25 年 7 月 1 日) 平成 26 年度の相談件数：95 件

② 循環器疾患 (P5~7)

【関係機関・団体】

- ・ 加入者本人に対し、生活習慣病予防健診 (含む大腸・胃・肺・乳・子宮頸がん) を実施。非扶養者に対しては特定健診を実施。生活習慣病予防健診受診率：58.07% 対前年比+2.07% (再掲 1

がん)【協会けんぽ】

- ・健康支援サイト「日赤 hara 凹ナビ」を制作し、登録者に健康情報を配信した。【日赤健康管理センター】
- ・労働安全衛生法に定める年1回の定期健康診断の事業場での確実な実施を指導している。特に9月を強化月間として周知広報を行っている。(再掲(1)がん)【労働基準監督署】
- ・メタボ予備群(39歳以下)の対象者への保健指導を実施。受診勧奨、治療中断者への保健指導を実施【県保険者協議会】

平成26年度実績：事業所巡回指導 延べ532人、家庭訪問(被扶養者) 延べ15人

【行政】

- ・特定健診受診率向上のための電話や個別勧奨通知を送付
- ・協会けんぽ、東区管内健診機関等と協働で東区健康フェスタを開催。特定健診・後期高齢者健診・生活習慣病予防健診を実施。
特定健診：国保89人・協会けんぽ4人、後期高齢者健診：16人、協会けんぽ生活習慣病予防健診：108人
- ・重症高血圧の要治療者に対する受診勧奨
- ・かかりつけ医と区役所との連携強化のための生活習慣病対策ネットワーク連絡会開催

③ 糖尿病 (P8~10)

【関係機関・団体】

- ・「糖尿病・歯周病医療連携」が実施されており、糖尿病と歯周病との関係など、発症予防のポスターなどで啓発をしている【市歯科医師会】
- ・事業場の産業保健スタッフ等を対象に糖尿病等予防に関する研修会を実施【熊本産業保健総合支援センター】
- ・血糖高値者へ文書及び電話による受診勧奨を実施【協会けんぽ】
- ・健診結果データの他支部との比較等により熊本支部の特徴に基づき高血糖に着目してデータヘルス計画を策定【協会けんぽ】

【行政】

- ・世界糖尿病デー関連の講演会や啓発イベント実施
- ・校区単位の健康まちづくりの取り組みにおける健康づくりコーナー等において、「けんつく会」の協力のもと簡易血糖検査器を活用した住民への啓発を行った
- ・糖尿病の要治療者に対して保健師や栄養士による受診勧奨を実施

④ CKD (慢性腎臓病) (P11~12)

【関係機関・団体】

- ・医療保険者主催のセミナーにおいてCKDの病態やその予防法、及びメタボリックシンドロームとの関連について講演を行った【日赤健康管理センター】
- ・栄養士不在のクリニックに対して管理栄養士を派遣し栄養、食事指導を行いCKDの重症、悪化予防できる体制をとっている【県栄養士会】

【行政】

- ・CKD予防教室の開催等保健指導の実施
CKD予防教室：対象者1,101人中345人参加。未受講者には個別健康相談や電話等によりフォローを実施。
- ・かかりつけ医と専門医との連携を図るためのプロジェクト会議を開催(開催：4回)し、病診連携システムの効果検証等を実施

- ・ CKD対策推進会議（市医師会、公的病院、健診機関、市民団体等で構成）で各関係機関との協働による取り組みの推進（60団体 87人参加）

＜社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上＞

① こころの健康（P13～14）

【関係機関・団体】

- ・ 県との共催により「うつ病に対する医療連携のための研修会」を県内各圏域で開催。うつ病の早期発見や早期治療につなげるために、一般かかりつけ医と精神科医との医療連携体制の強化を図った。【熊本県精神科協会】
- ・ 事業場の産業保健スタッフ等を対象に、メンタルヘルスケア関連の研修会を開催した。【熊本産業保健総合支援センター】
- ・ 労働者の心の健康の保持増進のための指針により事業場を指導。また、H27年12月から50人以上の事業場に義務づけがなされる「ストレスチェック」について周知広報を実施【労働基準監督署】

【行政】

- ・ 精神科医師・心理士・保健師等による相談を実施
- ・ 平成26年10月からひきこもり支援センター「りんく」を設置し、対象者及び家族の支援を強化した。
- ・ 学校においては、スクールカウンセラー、心のサポート相談員の配置、スクールソーシャルワーカー等の派遣を通し、児童生徒や保護者が悩み等を相談できる体制を整備
- ・ 保健・医療・福祉・教育・労働・警察等の関係機関との連携強化を図ることを目的に自殺対策連絡協議会を開催

② 次世代の健康（P15～16）

【関係機関・団体】

- ・ 妊婦の口腔管理能力の向上を図り、妊婦及び乳児の口腔疾患や低体重児の出生予防とその健康増進を図ることを目的に無料妊婦歯科健診実施。【市歯科医師会】
- ・ 子育て支援の場として就園前の幼児を対象に各幼稚園では「未就園児つどいの会」を設けなごやかな環境の中で親子の交流を図っている。【私立幼稚園協会】

【行政】

- ・ 親子（母子）健康手帳交付時に妊産婦健康相談を実施。相談日以外でも専門職が対応している。（相談日：3,449件、相談日外3,993件）
- ・ 子育て世代の保護者の孤立化を防ぐとともに健やかに育成できる環境整備を図ることを目的としたこんにちは赤ちゃん事業の実施。
- ・ 中・高生や専門学生に対してエイズ・性感染症予防に関する出前講座や講演会を実施。

③ 働き盛り世代の健康（P17～18）

【関係機関・団体】

- ・ 健康支援ロボット「ロボリーマン」を軸とした健康づくりプログラムの試行【協会けんぽ】
- ・ 熊本市と連携し、市役所本庁や東区役所（東区健康フェスタ）で熊本市国保加入者および協会けんぽ被扶養者等の健診を実施した。【協会けんぽ】

- ・熊本商工会議所会報誌にて、協会けんぽの協力を得ながら生活習慣病の注意喚起を行った【熊本商工会議所】

【行政】

- ・校区単位の健康まちづくり中でPTA団体等と連携を図り、健康チェックや生活実態調査、親子学習会などを実施
- ・生活習慣病ネットワーク連絡会において、医療機関と校区の健康づくり組織の代表者と行政が協議し、特定健診強化月間を実施した。

④ 高齢者の健康 (P19~20)

【関係機関・団体】

- ・各ささえりあで、転倒予防教室、健康体操教室、認知症予防教室などを開催し、予防に力を入れている。【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・機関紙によるロコモティブシンドローム予防に関する情報提供【日赤健康管理センター】
- ・各地域での高齢者サロン、老人会において保健師の指導や健康体操・介護予防体操の実施。また、健康講座「認知症予防について」を実施した【東区内】
- ・託麻原小学校、PTAと連携し「安心メールネットワーク」を整え、認知症が疑われる徘徊者を早期発見、保護をする体制を維持した。【中央区内】

【行政】

- ・地域の高齢者サロンや老人会等において、栄養指導、運動（ロコモ予防）、口腔機能の維持等についての健康教育を実施
- ・生活機能の低下がみられる高齢者（二次予防事業対象者）に対し、通所による介護予防事業を実施
- ・「認知症サポーター」を養成するための講座を実施

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

① 栄養・食生活 (P21~22)

【関係機関・団体】

- ・各園、お弁当・給食と中食のスタイルは違うが、野菜を育てたり、調理したり栄養のことを楽しく学んだりして食に対して興味をもてるよう導いている。【私立幼稚園協会】
- ・講演会「食を学ぶのか？食で学ぶのか？～子どもたちの”できる”を伸ばす食育～」を実施【熊本市PTA協議会】
- ・地域にて、食生活改善を中心とした生活習慣病予防および子ども・高齢者への健康づくりに関する調理実習や啓発活動等（地区組織活動）を実施（H26年度実績：8,147回 60,331人）【食生活改善推進員協議会】

【行政】

- ・6月の食育月間に食の大切さや食と健康のつながりについて楽しく学ぶイベント「食と健康フェア2014」を動植物園にて開催（参加者12,261人）
- ・朝食欠食の改善、共食の増加に向け、子どもの食育推進ネットワークを通じた食育活動を実施
- ・市民が身近なところで食育を実践しやすい環境整備のために、食事バランスガイドや栄養成分表示等を実施する「健康づくりできます店」を募集し、登録店が増加した（登録店129

店)

② 身体活動・運動 (P23~24)

【関係機関・団体】

- ・ 総合型スポーツクラブの育成・支援を毎年充実させている。【スポーツ推進委員協議会】
- ・ 熊本市民スポーツフェスタを毎年春夏秋冬と多種目にわたって開催し、市民が気軽にスポーツに楽しめる場を作っている。【スポーツ推進委員協議会】
- ・ 校区にてウォーキング大会、ウォークラリー、ハイキング等を実施【東区内】
- ・ わくわく健康塾にてウォーキング、ジョギング講座を開催した。【南区内・他】

【行政】

- ・ 各種健康イベントや健康教室などを通し、身体活動についての普及啓発を実施
- ・ ICTを活用したモデル事業を実施(区民100名をモニターとして約2ヶ月間のウォーキング状況と身体状況の把握。終了後は区内の運動施設と連携し運動に積極的に親しむ環境づくりを行った)
- ・ 校区単位の健康まちづくり事業の取り組みとして西区版熊本弁ラジオ体操を作成。希望する管内の事業所や自治協議会等の組織に配布し運動習慣の定着を図った。

③ 休養 (P25)

【関係機関・団体】

- ・ 熊本日日新聞暮らし面で「働き盛りの健康が危ない」と題し、質の良い睡眠に関する記事を掲載(再掲(2)循環器疾患)【協会けんぽ】
- ・ 医療保険者主催の生活習慣病予防セミナーで新しい睡眠指針の情報提供を行った。【日赤健康管理センター】

【行政】

- ・ こころの健康センターにおいて、ストレス対処法などに関する講話を実施
- ・ 地域の各種健康イベント等を通して、「健康づくりのための睡眠指針2014」を活用し、より良い睡眠のとり方等睡眠についての啓発を実施。

④ 飲酒 (P26~27)

【関係機関・団体】

- ・ 特定保健指導及びメタボ予備群の保健指導時、メタボ予防セミナーにおいて適正飲酒の指導を行った。(平成26年度セミナー実績:合同セミナー4回177人 組合単独セミナー10回284人)【県保険者協議会】
- ・ 保健指導実施時に当センターオリジナルの減酒支援媒体とAUDITを用いて減酒支援を行っている。【日赤健康管理センター】

【行政】

- ・ 各種イベント等を活用した適性飲酒に関する啓発を実施
- ・ 親子(母子)健康手帳交付時や妊婦検診及び育児相談の再、妊娠中や授乳中の飲酒を行わないよう保健指導を実施

⑤ 喫煙 (P28~29)

【関係機関・団体】

- ・ 受動喫煙防止のため、中小企業事業主が喫煙室を設置する場合は、上限200万円で費用の1/2を助成する制度があることを周知広報した。【労働基準監督署】
- ・ 熊本大学大森教授と連携し、たばこ(COPD)に関するアンケート調査を実施し、実態把握を行った。【協会けんぽ】
- ・ 妊婦歯科健診時に妊婦へ喫煙が赤ちゃんに与える影響について説明を実施【市歯科医師会】

【行政】

- ・ 小学生を対象に禁煙啓発ポスターコンテストを実施。ポスターを作成し、庁内関係課やがん対策協定企業へ配布した(再掲(1)がん)
- ・ 幼児健診等の場を活用し、幼児へのたばこの影響について啓発を実施。家庭での禁煙・分煙の啓発を実施。
- ・ 中学校からの依頼に基づき薬物乱用防止教室の中で、喫煙による健康被害を説明し、喫煙しないように指導した。

⑥ 歯・口腔の健康 (P30~31)

【関係機関・団体】

- ・ 中学校・小学校・幼稚園・保育園で健康教室への協力【8020健康づくりの会】
- ・ 地域の8020推進員と一緒にサロンなどで高齢者に口腔ケアを周知している。【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ 毎年、熊本市民健康フェスティバルで8020達成者を表彰し、8020の大切さを啓発している。【市歯科医師会】

【行政】

- ・ 保育園・幼稚園におけるフッ化物洗口の取り組みを実施(実施園201園中98園)
- ・ 小学校でのフッ化物洗口普及モデル事業の拡大に向け、歯科関係団体等の協力のもと、学校、保護者への説明会や地域での啓発を行い、7校がモデル校として実施
- ・ 成人期から高齢者を対象とした歯周病予防や口腔機能向上に関する講話及び歯磨き指導を実施

＜健康を支え守るための社会環境の整備＞

① 小学校区単位の健康まちづくり (P32~33)

【関係機関・団体】

- ・ 花園校区の健康づくり部会と西区保健子ども課、花園小PTAが連携しPTAバザーや、校区運動会等の機会をとらえて健康チェックや健康相談等を実施【熊本市PTA協議会】
- ・ 帯山西校区では地縁組織である校区社協、民児協、自治協と中央区保健子ども課、市社会福祉協議会、包括と共に「健康づくり」をテーマに月に1回会議を重ね対応策を検討した。【中央区内】
- ・ 河内校区体育協会では子育て世代を中心として地域の健康づくりを中心とした活動を行っている。【西区内】
- ・ 校区イベント時に北区保健子ども課の協力をえて楡木校区健康まちづくりワークショップ

ブを開催している【北区内】

【行政】

- ・ 全市的な取り組み推進を図るため、校区自治協議会等の関係者による活動報告会を実施
- ・ 6回にわたり健康まちづくりをテーマとする「平成26年度市政リレーシンポジウム」を開催した。ワークショップ開催につながるなど、校区の取り組みをさらに進めるものとなった。参加者1,440名

② 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援 (P34~35)

【関係機関・団体】

- ・ 各ささえりあで「健康づくり支援者研修会」「介護予防サポーター養成講座」などの名称で開催し、健康づくりのボランティアを育成・支援している。【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ 家庭の健康づくりサポーター制度を創出し、健康保険（健康づくり・医療費適正化）に関する情報の提供を行った。（登録者583名）【協会けんぽ】

【行政】

- ・ 食生活改善推進員（H26実績85名）や8020推進員（H26実績73名）、精神保健福祉ボランティア（H26実績11名）等の健康ボランティアを養成
- ・ 健康まちづくりサポーターの養成

③ 企業・大学等の健康づくり活動の促進 (P36~37)

【関係機関・団体】

- ・ 労働安全衛生法に定める衛生委員会の付議事項に関して「健康の保持増進」の項目があり、各事業場における実施状況を確認している。【労働基準監督署】
- ・ 熊本大学大学院の大森久光教授並びに加藤貴彦教授と医療費分析に関する協定を締結した。【協会けんぽ】

【行政】

- ・ 各区における大学生等の食事に関する実践力アップのための食育実践講座を開催
- ・ 大学生を対象とした歯たちの健診を実施

II 平成 27 年度の取り組み

「がん」対策については、受診率向上に向け、行政及び市民、関係機関・団体等がそれぞれが「受診率向上にむけた取り組み計画」に基づき取り組みを推進する。

「CKD対策」については、腎機能検査の実施率を高めるために特定健診の受診率向上を図るとともに、事業開始後 6 年間を経ての検証・事業評価を行い、第 2 ステージに向けて今後の方針について検討を引き続き行っていく。

次に、「校区単位の健康まちづくり」では、各校区の地域特性や健康課題に応じた取り組みを継続するとともに、平成 25 年度に策定した「評価の手引き」を活用し、評価を可視化することで、さらに、取り組みの推進を図る。

*平成 26 年度の取り組みの継続を基本とし、新たに見直しや工夫を行う事項について記載

○ 主な取り組み等 ※ページ数は「資料 1-2: 具体的な施策の展開シート」のページ数

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

① がん (P1~4)

【関係機関・団体】

- ・ ささえりあで開催する研修会でチラシなどを配布する予定。【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ がん啓発に関する各種イベントへ参加（がん啓発セミナーやがん撲滅チャリティライブ等）【がん予防協会】
- ・ 熊本商工会議所会報誌において、がん検診案内記事を掲載。事業主並びに従業員に対し浸透をはかる。(平成 27 年 4 月号にて実施済)【熊本商工会議所】

【行政】

- ・ 図書館と連携した啓発を実施
- ・ がん検診受診を促す川柳を募集し優秀作品を用いた缶バッジを作成する
- ・ 生活習慣病ネットワーク連絡会において、特定健診強化月間の実施を予定しているが、同時に大腸がん検診についての受診勧奨を行う。

② 循環器疾患 (P5~7)

【関係機関・団体】

- ・ くまもとスマートライフプロジェクト”特定健診・がん検診等受診率向上”に他企業とコラボし、提案書を提出した。【日赤健康管理センター】

【行政】

- ・ 医療機関への働きかけの強化として、特定健診実施機関以外にも、眼科および整形外科へ特定健診受診および重症化予防啓発ポスターの掲示を依頼。

③ 糖尿病 (P8~10)

【関係機関・団体】

- ・ 要医療者への受診勧奨を強化する。受診確認後、受診継続のための事後フォローまで行う予定【協会けんぽ】
- ・ 糖尿病予防のため手軽にできるウォーキング・ジョギングをする啓蒙活動を図る。【北区内】

【行政】

- ・ 集団健診の結果説明会での啓発を、従来の地区に加え、新たな地区での集団健診についても実施する。

④ CKD (慢性腎臓病) (P11~12)

【関係機関・団体】

- ・ H26 年度の分析結果から、人工透析導入の時期を遅らせるため、独自に基準を設けた対象者へ受診勧奨を行う。受診確認後、受診継続のためのフォローまで行う予定。【協会けんぽ】

<社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上>

① こころの健康 (P13~14)

【関係機関・団体】

- ・ H27.12 月から実施される職場におけるストレスチェック実施に向けて受入れ体制を整備中【日赤健康管理センター】
- ・ ストレスチェックの義務化に伴い周知広報のための説明会を11月までに複数回実施する。また、実施努力義務である50人未満の事業場に対しては、助成金制度に対する周知を行う。【労働基準監督署】
- ・ 地域懇談会での講演会を実施。講師：岡崎光洋氏(くまもと心理カウンセリング代表)【北区内】

② 次世代の健康 (P15~16)

【行政】

- ・ 校区子育て支援ネットワークの取り組みとして、一部の校区で妊娠期の両親学級を開催する予定

③ 働き盛り世代の健康 (P17~18)

【関係機関・団体】

- ・ 楽しく体を動かすことで気分転換をはかる機会をつくる。仕事で忙しくても健診を受けることの重要性を伝える活動をする。【南区内・他】
- ・ 楡木校区健康まちづくりの中で、子ども会・PTAで連携し30~40歳の健康チェック及び高齢者を含む交流事業を計画する。【北区内】

【行政】

- ・ 区内の医療機関と連携し、風邪等で受診した40~50代の市民に対し特定健診勧奨を行う取り組みを開始する。

④ 高齢者の健康 (P19~20)

【関係機関・団体】

- ・ 機関紙にて認知症に関する記事掲載予定【日赤健康管理センター】
- ・ 地域リハビリテーション広域支援センターを軸に住民（高齢者）の意向に沿った形での健康づくりや介護予防活動実施予定。中央区の医療機関、介護サービス事業所のリハビリ専門職の組織横断的なネットワーク体制を模索していく。【中央区内】

【行政】

- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けた校区や社協エリア、また、区単位での会議や研修会開催の動きが出てきており、その中で、認知症高齢者対策についての課題や対策について協議を行う。

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

① 栄養・食生活 (P21~22)

【関係機関・団体】

- ・ 健全な食生活を支援する食環境整備を支援する体制をつくっており飲食店からの栄養成分表示等の依頼に対しての体制づくりをしている。【県栄養士会】

② 身体活動・運動 (P23~24)

【関係機関・団体】

- ・ 健くま体操の普及と1日10分プラステンを多くの市民に広めていく。【南区内・他】

【行政】

- ・ 区民約400名を対象に、合計歩数を競うウォーキングキャンペーンを2ヶ月間実施。併せて区内の社会体育施設にてウォーキングの実技指導とストレッチ等の運動指導を行い、運動に積極的に親しむ環境づくりを行う。
- ・ 健康さるくくまもと西が専門性を生かして、校区の健康づくり組織が企画したウォーキングコースについて、運動効果等を盛り込んだ看板作成に協力する。

④ 飲酒 (P26~27)

【関係機関・団体】

- ・ H27.7 肥前精神医療センター主催の「ブリーフ・インターベンション&HAPPYプログラム研修」に参加した。今後の減酒支援に活用していく予定。【日赤健康管理センター】

⑤ 喫煙 (P28~29)

【関係機関・団体】

- ・ 医療保険者からの委託で企業・事業場へ出向き出張禁煙セミナーを実施予定【日赤健康管理センター】
- ・ 食と健康フェアにおいてタバコに関するアンケートを実施。日本禁煙学会で「事業所での取り組み報告」をアンケート結果を用いて発表予定【協会けんぽ】

⑥ 歯・口腔の健康 (P30~31)

【関係機関・団体】

- ・ スモールチェンジ事業所における歯援プログラムの実施 (200名) 【協会けんぽ】
- ・ イベント、敬老会、楡木春まつりの会場で検査ブースを設け関わっていききたい【北区内】

<健康を支え守るための社会環境の整備>

① 小学校区単位の健康まちづくり (P32~33)

【関係機関・団体】

- ・ 帯山中学校区、各 (託麻原・帯山・帯山西) 小学校区、町内、隣保組単位で高齢者を軸とした日常的な助け合い、地縁組織の随時対応できるサポート、NPO 等が行うテーマ型の助け合いのサービスの開発し、またそれぞれのネットワークを構築予定。【中央区内】
- ・ 「東区健康まちづくり推進員協議会」を6月30日に設立。「楽しく伸ばそう健康寿命」をテーマに活動を開始【東区内】
- ・ 楡木校区健康まちづくりワークショップで楡木校区の目指す姿を明確にする。【北区内】

② 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援 (P34~35)

【関係機関・団体】

- ・ 健康づくり熊本市民応援団のメンバー募集活動、健康塾の参加【南区内・他】

【行政】

- ・ 健康まちづくりサポーター養成講座修了生による「健康まちづくり推進員協議会」の設立 (H27.6.30) 及び運営・活動支援

③ 企業・大学等の健康づくり活動の促進 (P36~37)

【行政】

- ・ 東区管内産学公民連携による健康まちづくりシンポジウムの開催 (H28.1.23)

